

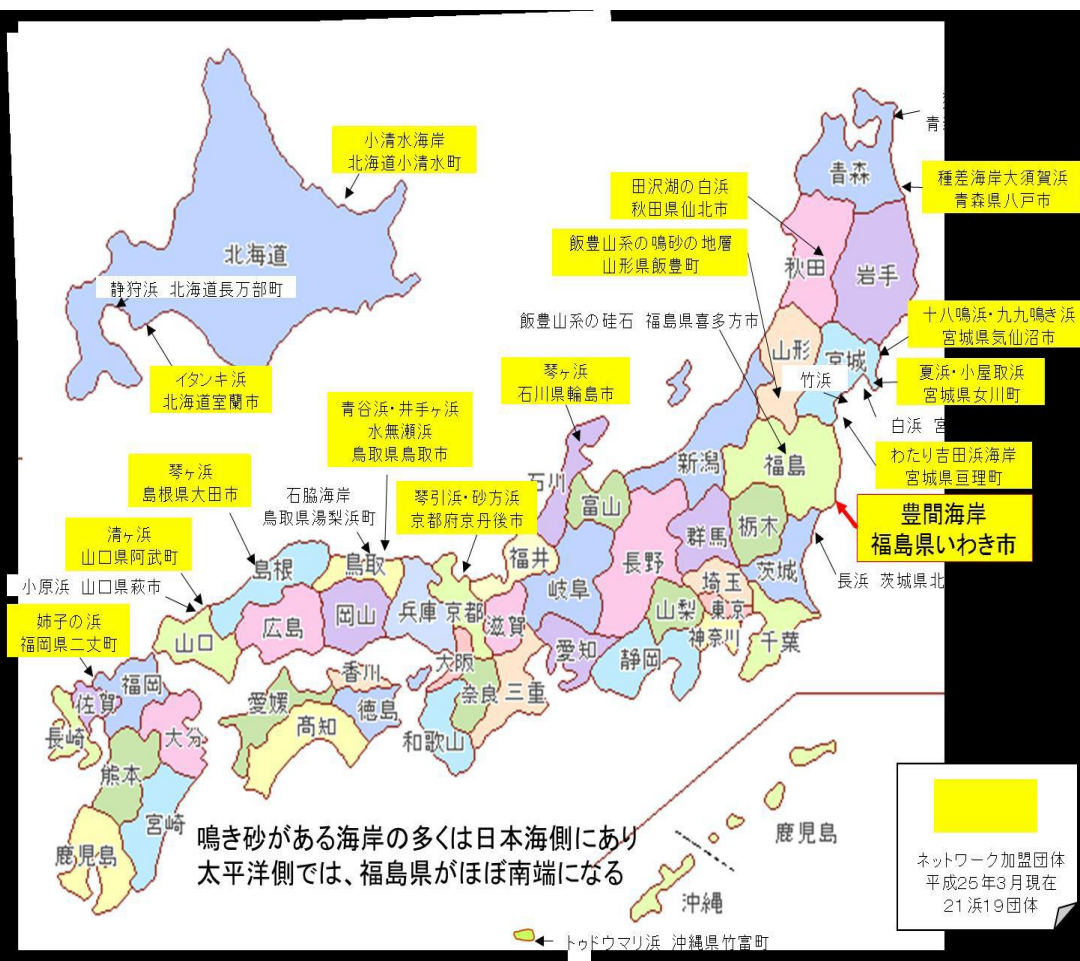
- 団体名 : NPO法人 いわき鳴き砂を守る会
- 所在地 : 福島県いわき市内郷高坂町八反田16番地の7
- TEL/FAX : 0246-27-5728
- E-mail : 9xt2vi@bma.biglobe.ne.jp
- URL : <http://www.nakisuna.com/>

以下は12月1日(金)いわき会場でのプレゼン資料です

# NPO法人 いわき鳴き砂を守る会

- 発表者氏名 事務局長 小堀 亨

## [全国鳴き砂マップ]



### ○鳴き砂の浜は減少傾向

全国に20ヶ所あまりの「鳴き砂」の浜がありますが、50年くらい前には60ヶ所位ありました。環境汚染が進んできたのが原因でしょうか。

### ○鳴き砂の保護活動必要

今ある鳴き砂の浜を減らさないように保護活動が必要です。

### ○太平洋側最南端の鳴き砂

いわきの海岸は、太平洋最南端の鳴き砂の浜として貴重な存在

## ●設立のきっかけ

### ○鳴き砂の研究がきっかけ

平成8年7月に「鳴き砂並びに、その保全について研究すること」などを目的として設立

### ○環境汚染に弱い鳴き砂

生活排水などの環境汚染により、減少することを発見した。

### ○鳴き砂の生成

花崗岩が400万年以上の時間をかけて風化、石英が残って鳴き砂になった

2017/9/10 いわきプラージュ 砂像



## ●団体の目的

### ○次世代への継承

地域住民と共同で保護活動を行い、鳴き砂を健全な状態で、次世代に引き継ぐこと。

### ○砂を通してコミュニケーション活動

砂絵教室、砂の像づくり、砂場遊びなどを通して砂との繋がりを創出していく

2017/8/22内郷宮沢団地砂絵教室



# 活動紹介

## 1. 鳴き砂海岸の清掃活動

年2～3回程度会員中心に海岸の清掃活動を実施している

## 2. 海岸でのイベントの開催

トヨタ(アクアソーシャルフェス)と協賛  
(勿来海岸、四倉海岸)

・海岸清掃、鳴き砂・放射線量調査・砂の像づくり・砂遊び等

## 3. 砂絵教室の開催

市内の公民館やイベント等で開催  
月に1～2回程度

## 4. 学校等での出前講座の実施

これまで、四倉小学校、海星高校での総合学習の一環として、鳴き砂講座を実施している

## 5. いわき駅前でのイベント開催

～「いわきプラージュ」

→福島第一原発事故後、屋外で遊べなかった子供たちに砂場を提供。多目的スペースに砂10m<sup>3</sup>を搬入し、『子どもの砂あそび場・砂像づくり・砂絵教室』を3日間実施。2日目には、高校生によるフラダンスの協賛あり。

→3日間観客数 3,169人

(昨年度 2,648人)

→終了後、砂を市内幼稚園・保育所に無料配布。

## 6. その他

○他団体との交流・支援

市内の環境関連団体のイベント等での支援活動

○NPOセミナー等への参加

○いわきにジオパーク誘致活動

# 私たちの思い、考え

## ▶団体の課題

### 課題1

砂浜の環境保全をするために、NPOとして活動しているが、その目的を完遂しているとは言い難い。

○人材不足や資金不足などの問題がある

### 課題2

現在の企業との共同事業は、1日の日程で終了してしまう

○年間を通しての事業を模索



### ●目指す団体の姿

- ①組織の基盤強化→認定NPO法人を目指す。
- ②コミュニケーション能力や、情報発信力を備えていく
- ③自団体で解決不可能な社会的課題の対処法をマスターする
- ④ネットワークの活用  
多様な企業との共同事業で、その解決に当れる地域社会創造を目指す。

2017/9/8 いわきプラージュ  
幼稚園児たちが砂場で遊ぶ姿

# 地域、住民、ボランティア、 参加者の反応や変化

## NPOセミナーの参加

- ・組織運営の知識を得ることができ、  
自団体の基盤強化に役立つ

2017 いわきプラージュ  
中学生ボランティア



## ・NPOのつどい

普段接点のない地域、他分野との交流で、今までと違った視点で自団体の活動を分析することができる。

## ・ボランティア参加者の反応

短大生、高校生、中学生に参加して頂き特に中学生は、我々の活動に共鳴して頂き、今後の協働を約してくれました。

## ・企業等のマッチング事業参加

企業との接点がないので、このようなマッチング会に積極的に参加し、プレゼンすることで、団体の成長を目指す。

# 協働に向けて

活動・組織での悩み

困っていること

## (1) 専門知識の人材不足

人材育成や資金調達・組織マネジメントについての専門知識のある人材が不足している。

## (2) 情報発信力の不足

WEBやSNSによる活動などの情報発信について、テクニカルな知識や情報が不足している。

企業と協働したいこと

サポートしてほしいこと

## (1) 広報協力

企業の営業ネットワークや各地の支店営業所にて、NPOのイベントやボランティア募集、寄付のお願いの告知などの広報の協力をお願いしたい。

## (2) 企業とのコラボレーション

NPOと企業との協力体制を構築し、お互いに発展できる関係を築く。

# 企業に向けてメッセージ

地域の社会的課題解決のために活動するNPO



地域の社会貢献活動を実施する企業

- 今すぐには協働することは難しいかもしれませんが、少しずつ接点を持つことで、徐々に信頼関係を築き、やがては、みんなが幸せになる地域社会の創造に貢献できる協働事業として実施できると信じています。
- 『NPOいわき鳴き砂を守る会』は、NPOと企業との接点を可能な限り多く作っていきたいと考えております。
- 企業の皆様には今後ともご理解とそしてご協力をどうぞよろしく願いいたします。

